



平成29年度第68回岩手県立軽米高等学校 卒業式挙行される 56名の卒業生に幸あれ



平成30年3月1日(木)、第68回卒業式が、山本賢一軽米町長をはじめ多数のご来賓、保護者の皆様をお迎えして、挙行されました。

校長は式辞の中で次のように卒業生に話されました。

「グローバル化の進展、情報化・AIの技術の発達など社会の変化が激しい時代であるが、周囲に流されることなく、自己を確立し、「あなたと一緒に働きたい」と思われる人になってください。校門の両側の松と柏は、逆境にあっても志を貫き通す逞しさを表しています。

本日は卒業生に吉田松陰のことばを送ります。富貴安樂は順境なり。貧賤艱難は逆境なり。境の順

なる者は怠りやすく、境の逆なる者は、励みやすし。怠ればすなわち失い、励めばすなわち得るは、これ人の常なり。これからの人生に正面から立ち向かってほしいと思います。」

ご来賓の方々を代表しての教育振興会会長山本賢一様より、「皆さんは本町に明るい話題を提供して頂きました。これまでは多くのものを与えられてきましたが、これからは一人で生きていきます。勇気、知恵、努力で切り開いて行ってください。自分を大切にすることはもちろん、感謝と他人を思いやる気持ちを持ち、正しい行いを心がけてください。ふるさと軽米町を忘れずに頑張ってください。」と励ましのことばを頂きました。

次に、PTA会長新井田一徳様から、「皆さんは数々のハードルを乗り越えてきたことと思います。平昌オリンピック女子フィギュアスケート宮原選手のコーチは、彼女は才能は無いが、人間これまで努力できるのかと思わされた。この努力こそが才能だ、と記していた。本日は、卒業生に3つの事を送ります。一つ、志を高く持ち、人生のビジョンを持ってください。二つ、努力の大切さを感じて欲しいです。三つ、強さの裏付けを持った本当の優しさを身に付けてください。」とメッセージがありました。

次いで、同窓会会長松浦満雄様から、「皆さんの卒業式での不動の姿勢に感動しました。平成30年10月20日には軽米高等学校の創立70周年記念事業を予定しています。「あなたのふるさとは、どんなところですか？」と尋ねられたらどう答えますか。同窓生には皆さんご存じの全国的に活躍されている方もいます。軽米町出身者として自信を持って活躍してください。最後に孔子の「信なくば立たず」のことばを送ります。たまには、ふるさとに戻って鋭気を養うことも大切です。同窓会は、軽米の本部はもちろん盛岡や九戸、東京にも支部があります。詳しいことは学校ホームページを御覧ください。皆さんの健闘を祈ります。」と激励のことばを頂戴しました。

本年度の卒業式には、県内の県立高等学校に対し岩手県教育委員会高橋嘉行教育長より「東日本大震災津波からの復旧・復興を含め、困難を仲間と乗り越え成長した皆さんを誇りに思います。情報化やグローバル化などの社会的変容の進展する時代を、皆さんは、これまでの経験を糧に切り開いていく力を持っています。学校で身につけた力を更に高め、ふるさと振興や日本の未来に貢献してくれることを期待します。」とメッセージがありました。

在校生を代表して、生徒会長大鳥直樹君が「入学直後の期待に胸膨らむ対面式直後の応援歌練習での先輩方の”声出し”に圧倒されたこと。クラスマッチで見せた団結力。時間の無い中でのレベルの高い文化祭の教室装飾や後夜祭。生徒会活動や部活動などでリードする姿。夢を実現するために、”北斗が夜空に冴え渡る時間まで”必死に机に立ち向かう姿勢。全てが私たちにとっての希望の星です。皆さんが受け継いだ軽米高校の伝統を継承し、更なる発展のために日々努力し邁進します。」と送辞を述べました。

これに対し、卒業生を代表して野中麻衣さんが次のように答辞を述べました。「3年前の4月、顔見知りが多い中で迎えた入学式でしたが、その後は、課題テストに学習合宿、対面式に応援歌練習と怒濤の忙しさでした。目まぐるしい日々が、「軽高生」になると

いう実感のわいた瞬間でありました。2年生になり、3年生が部活動を引退すると、一層部活動に身が入りましたが、上手いかず思いがすれ違ったこと、困難を乗り越えたこと、仲間と団結することなどたくさんの経験をしました。3年生になり、どの行事にも”最後”ということばが付き、すべての行事に一生懸命取り組みつつも、個々の未来を考え、進路希望の達成のため、就職活動、平常課外に長期休業課外、模擬試験、就職試験、推薦入試など、今までにないほど多忙な日々を送りました。思うような結果が出ず、焦りと不安の日々も、放課後も土日も頑張る同級生、そして、熱心に指導して下さる先生方に励まされ頑張れました。たくさんの方々の支えがあり、今日ここまでたどり着くことができました。

楽しくわかりやすい授業をして下さった先生方に感謝しています。在校生の皆さん、自分を信じ、仲間と協力して様々なことを乗り切ってください。18年間育ててくれた家族の方々の惜しみない大きな愛に包まれて、今ここにいると改めて感じます。これからはたくさん世話をかけるとは思いますが、これからは今まで以上に家族を大切に生きていきたいと思えます。

これから56通りの人生をそれぞれの方で歩いていきますが、3年間で体得した自立心や協調性、そして思いやりの心をもって精一杯生きていきます。」

ご来賓の皆様、保護者の皆様、本日はご出席頂き誠にありがとうございました。安堵感の中にも、これからの新生活に向けての緊張感をのぞかせながら、56名が巣立っていきました。これからの人生に幸多からんことを。頑張れ卒業生!!!



卒業式前日の2月28日(水)、平成29年度表彰式が行われました。3学年の皆精勤で表彰されたのは次の生徒の皆さんです。おめでとうございます。

【3学年1カ年精勤者 8名】	板橋 柚香	大村 聡美	小笠原 翼	上村 愛奈
神山 卓也	冬部 翔真	泉山 響	上長根千春	
【3学年1カ年皆勤者 7名】	鶴飼 郁舞	戸館 里紗	大清水 樹	瀧澤 蘭華
千葉 千裕	皆川 慎吾	三八木澤洗希		
【3カ年皆勤者 19名】	於本 紳也	上澤 健	鶴飼 新	鶴飼 翔吾
野澤 幸暉	松本梨恵子	一條 豊樹	賣井坂怜矢	小田島碧海
久保田光祐	神久保莉奈	清藤 真名	中里 大樹	野中 謙
圃田 大地	山仁 沙那	若山 元気		野中 麻衣



風雪二耐工
大イナル
未来ヲ
拓カン